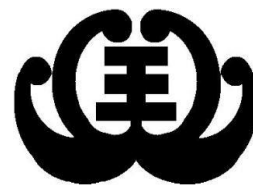


王子ヶ浜小学校
学校だより第11号
令和6年1月9日

王子ヶ浜



〒647-0031 和歌山県新宮市田鶴原町 2-10-1 TEL:0735-22-8431 校長 谷口 幸生

新しい年を迎えました。いよいよ最終学期です。「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と時が過ぎるのが速く感じられる時期です。目標に向けて悔いの残らぬようこの瞬間（とき）を大切にしていきたいです。

新年、明けましておめでとうございます。

「新しき 年のはじめにおもふこと ひとつ心につとめて行かな」斎藤茂吉(さいとう もきち)

2024年、干支の中で辰（龍）だけが架空の動物です。他の干支は実在する動物なのになぜ龍だけが架空の動物なのか？不思議ですね。「龍という文字に鰐（ワニ）の意味もあったので、そもそもは龍ではなくワニを指していた」とする説があります。

また、有力とされているのが、中国の後漢、宋の時代の「三停九似説（さんていきゅうじせつ）」です。「三停九似説」は「三停説」と「九似説」が結びついたもの。「三停説」とは、龍の頭から腕の付け根まで、腕の付け根から腰まで、腰から尾の先までの長さが等しい事を言い、それぞれが天上・海中・地底に通じているとされています。「九似説」とは龍の姿が、他の九つの生き物に似ているということを表します。

角：鹿、頭：駱駝（らくだ）、眼：鬼（うさぎという説も）、胴体：蛇、腹：蟹（みずち | 蟹気楼を生み出す架空の生き物）、背中の鱗：鯉、爪：鷹、手：虎、耳：牛

さらに、口の横に長い髭を生やし、鱗は81枚あって喉の下の1枚だけが逆さに生えていて、手には宝珠を持っているとされています。その姿は見たことがないものの、昔の人々は「三停九似説」から想像を膨らませ、龍の姿を描いていたのでしょうか。それが、今日私たちが思い浮かべる辰の姿になっていると言われています。

2024年の干支（十干十二支）は「甲辰（きのえたつ）」です。「甲」は、十干の一番目の文字で、物事の「はじまり」を象徴し、「辰」は万物が成長して動きが盛んになる象徴とされています。つまり、2024年は「物事のはじまり」と「大きな成長」の年と言えそうです。

<和歌山県HPより、コロナウイルス感染症やインフルエンザ等に関する内容や注意喚起>

◎コロナウイルス感染症の特徴を踏まえた自主的な感染対策

- ・基本的な感染対策として、手洗いや手指消毒、効果的な換気、マスクの適切な着用が有効。
- ・祖父母などの高齢の方と合われる場合や大人数で集まる場合、感染予防を心がけ、体調を整える。
- ・発熱などの体調不良時に備え、自己検査キットや解熱鎮痛薬等を準備。

◎インフルエンザ予防で注意すべきこと

- ・ワクチン接種（効果が現れるまで2週間ほどかかります。）
- ・咳エチケットを徹底しましょう。
- ・こまめに手洗いを行いましょう。
- ・湿度を適切に保ちましょう。
- ・健康管理に努めましょう。
- ・室内ではこまめに換気を行いましょう。

<早めの医療機関への受診>

発熱や咳等、コロナウイルス感染症やインフルエンザ等の症状がある方は、早めに医療機関を受診してください。特に、家族に乳幼児や高齢者、基礎疾患のある方が居る場合には重症化のおそれもありますので、感染した場合の対応等心配なことがあれば、あらかじめかかりつけ医に相談しておきましょう。